

ゆずの風新聞

令和5年
はじまりの号
発行
馬路村農協



農協HP
はごちそう



84歳

87歳

90歳

ポン

ポン

ポン

いきおひ余って
背中におモロン

86歳 すみちゃんの バイリンガル コーナー

村特有の
バイリンガル用語が
たくさんあります。
あなたは
わかるかな？

Q) まんのけった

例) 昨日は庭で「まんのけって」ぶちこけた

※答えは裏面に

新年の餅つき

1月7日、日浦地区で交流会を兼ねた餅つき大会が行われました。というのも、ここ数年は、運動会等の地区の恒例行事が出来ておらず、その間に新しい顔ぶれも増えてきたので「みんな顔が見えたらえいねえ」と新年の餅つき大会を思いついたのでした。

前々日の晩からもち米を水につばけ、準備万端で迎えた当日。まさかの雨。「やるのかなあ、人来るかなあ」と心配していましたが久しぶりの地区のイベントとあり、老若男女たくさんの方が集まりました。段取りの分からない若者が遠巻きにしていると、どこからかおばちゃんが集まってきて若者を巻き込み、手際よくお餅を丸めていきます。

90歳のおばあちゃんが手水をやったり、80歳のおんちゃんが餅をついて、なぜか背中に餅が飛んだり。農協女子も、もち米の研ぎ方や蒸し加減、お餅の丸め方を熟練のおばちゃんに教わりました。最年少職員がおばちゃんに負けじと場を仕切っては笑いを取って、終始笑いの絶えない交流会となりました。



村に有名な
つらうエボット

冬至の
ゆず風呂。
この日のために
自家用のゆずを
少しだけ残こし
いるも。

防寒対策として
ゆずの幼木にワラを巻く。

組合長の
手づくり
農協の内松。

野菜の天日干し

馬路の冬

ベルガモット しゃんかく期

馬路村から1時間ほど車を走らせた太平洋沿岸にベルガモット畑があります。ベルガモットはエッセンシャルオイルやアールグレイの原料となり、ゆずの収穫が落ち着いた12月半ばから収穫がはじまります。ベルガモットが黄色く色づくのは2月頃ですが、12月〜1月頃のまだ青い実が香りが良く収穫に適しているのです。2018年に植えた苗木がすくすく育ち、今年は今までにない豊作の年となりました。採っても採っても減らないベルガモットに、少数体制の収穫隊は「あと何回来ないかなあ」と苦笑いです。



ふたご座 流星群



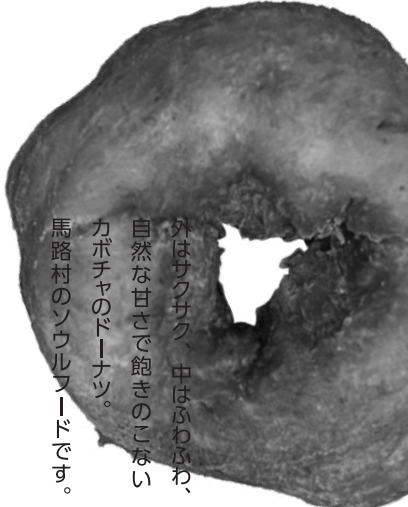
星の案内人こと本ちゃんの発案で、12月14日に、星を見る会が開かれました。農協・役場の若者が集まり、ゆずの森の駐車場にシートを広げ、毛布に包まったり、寝転がったりしながら流れ星を数えました。本ちゃんが東の空に浮かぶふたご座や冬の大三角を解説してくれたり、自前の望遠鏡で火星や木星を見せたり、本格的な星のツアーとなりました。終盤には本ちゃんお手製のシチューが配られ、お汁粉やお菓子を囲んでちよつとしたキャンプのような雰囲気。花より団子の年少組はシチューに喜び、星に背を向けて食べ始める始末。呆れる年長組はしっかり流れ星を見つつ、目もお腹も満たされた会となりました。

村の文化祭

毎年12月に開催されている村の文化祭ですが、今回はいつになく活気に満ちた文化祭となりました。というのも、村民に圧倒的な人気を誇る「りっちゃんドーナツ」が限定復活することになったのです。復活の情報は瞬間に村内に広まり、たくさんの方々が文化祭を楽しみにしていました。その人気ぶりは高知新聞の記事にも取り上げられる程で、中には開始1時間前から待っている人もいました。開始から少し遅れてりっちゃんドーナツが到着すれば、長蛇の列が形成され、第一弾は一瞬で売り切れてしまいました。第二弾、第三弾と到着しますが、その度飛ぶ様に売れ、すぐさま完売です。これには手伝っていたりっちゃん家族も苦笑い、休みなく揚げ続けるりっちゃんが倒れるのでは、と冗談混じりに心配する程です。広報係は取材を兼ねて30分前から待機しており、無事りっちゃんドーナツを獲得出来ました。



りっちゃん ドーナツ



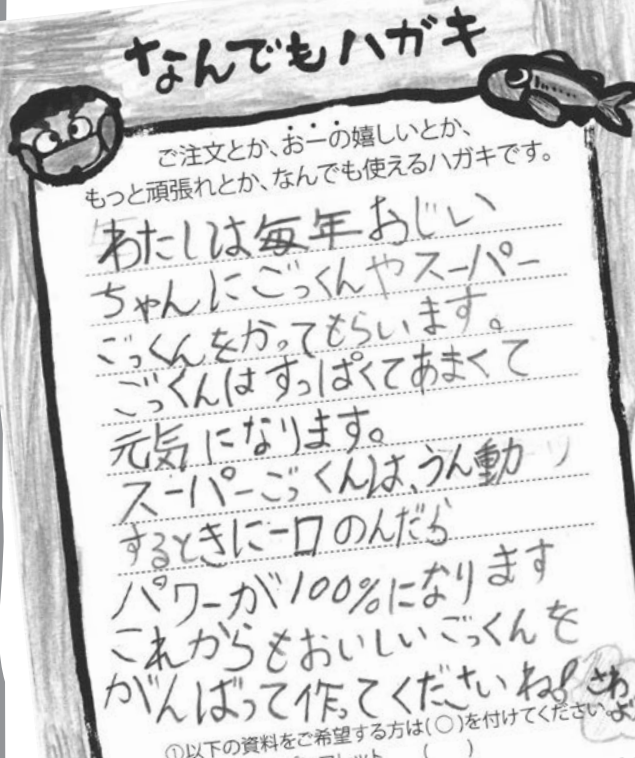
外はサクサク、中はふわふわ、自然な甘さで飽きのこないカボチャのドーナツ。馬路村のソウルブロードです。

落ち葉は畑の 大切な栄養 です

農協のゆずの森は紅葉が終わると一斉に葉っぱを落とすはじめます。化学系肥料を使わない馬路村では、落ち葉はゆず畑の土づくりに欠かせない貴重な栄養源。落葉樹の多いゆずの森は大量の落ち葉がゲット出来るスポットです。毎朝の掃き掃除で集められた落ち葉は農家さんに提供され、ゆず畑の土へと還っていきます。落ち葉の天然肥料は人気で、中には魚梁瀬地区まで落ち葉を集めに行く農家さんもいる程。土づくりにこだわり、毎年落ち葉をたっぷり入れていくゆず畑は、足がしむ程ふかふかで、山肌にも拓かれたとは思えない、栄養たっぷりな畑になっています。馬路村のゆずは、草引きや剪定だけでなく、土づくりからこだわって、手をかけて育てられています。落ち葉を入れ終わったゆず畑は、そろそろ剪定がはじまります。



おーの嬉しい おたのしみパーティー



森を元気にする会社
エコアス馬路村



http://www.ecoasu.co.jp/

馬路温泉

つるつるのお湯でゆったり。食事、宿泊もできます。
電話番号
0887-4412026
予約専用フリーダイヤル
0120-04412026



馬路温泉 HP

すみちゃんの パリンガル コーナー

86歳



まんのけった
= 仰向けになること
例)昨日は庭で「仰向けになって」ふちこけた

編集後記

餅つき交流会の前々日、先輩が準備を行いました。地区長さんと熟練のおばちゃんももち米の研ぎ方を教えてくれる中で、「つばけちよつて」という言葉に後輩が一人だけ？を浮かべ、その場に衝撃が走りしました。「つばける」とは「水につける」という土佐弁で、食器を下げる際に必ず使う日常用語です。高知県では広く使われており、生まれも育ちも高知県の彼女が知らないという意味が理解出来ませんでした。彼女の育った地域では使わないのか、時代の変遷で世代的に土佐弁が消えていっているのか。私も古い人間になりつつあると、ひどい現実を見ました。この餅つき交流会は本当に久しぶりの地区イベントで、見知らぬ顔も多い中、終始和気藹々と出来たのは、この地区の緩い気質と、先輩の存在があったと思えます。「一番下が一番口が悪いねえ」と熟練のおばちゃんに言われた彼女は農協最年少、一番の下っ端です。が、おばちゃんに教わった傍から大声で指示を飛ばし、先輩達を使う姿に会場は大笑い。緊張していた空気が緩んだ様でした。古今東西若者はおばちゃんという最強の存在に気後れしがちですが、彼女のおかげで遠慮気味な若者も気兼ねなくおばちゃんとお喋り出来ていました。おばちゃんと対等に渡り合える彼女は、前組合長に太鼓判を押された農協期待の星なのです。